

**草の根通信** 1974・7 第19号  
 豊前火力絶対阻止  
 環境保護をすすめる会 豊前市在住  
 事務局 豊前市船場町 (電3651)  
 中津大分県一 (電1705)  
 松井下 電話 100



聴こえぬ海を殺すな

# 戦後日本 住民運動 資料集成

戦後日本の住民運動研究に必要不可欠の基本資料



戦後日本住民運動資料集成1  
**復刻『草の根通信』1**  
 全9巻 B5判 定価(本体240,000円+税)  
 ISBN4-902871-45-9

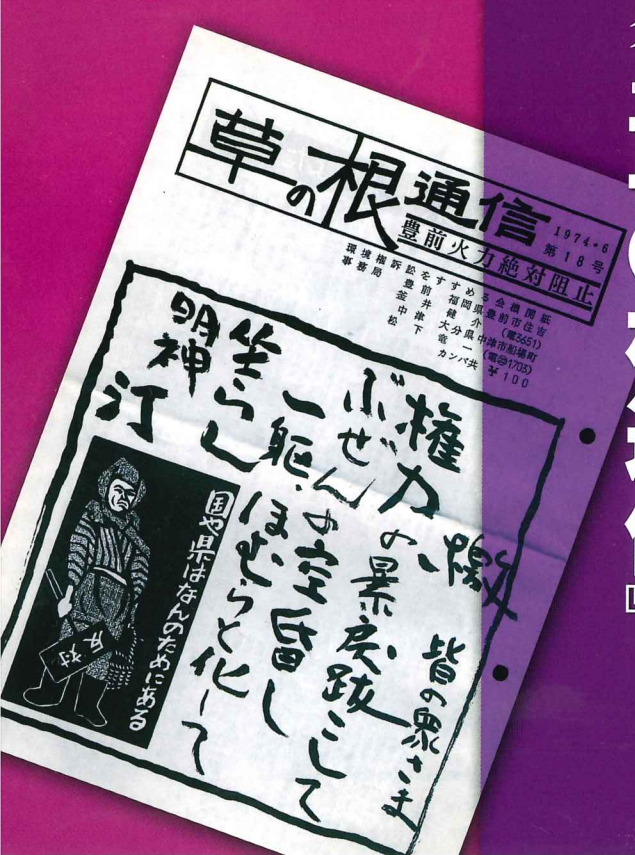
戦後日本住民運動資料集成4  
**復刻『草の根通信』2**  
 全10巻 B5判 定価(本体240,000円+税)  
 ISBN978-4-903763-73-6

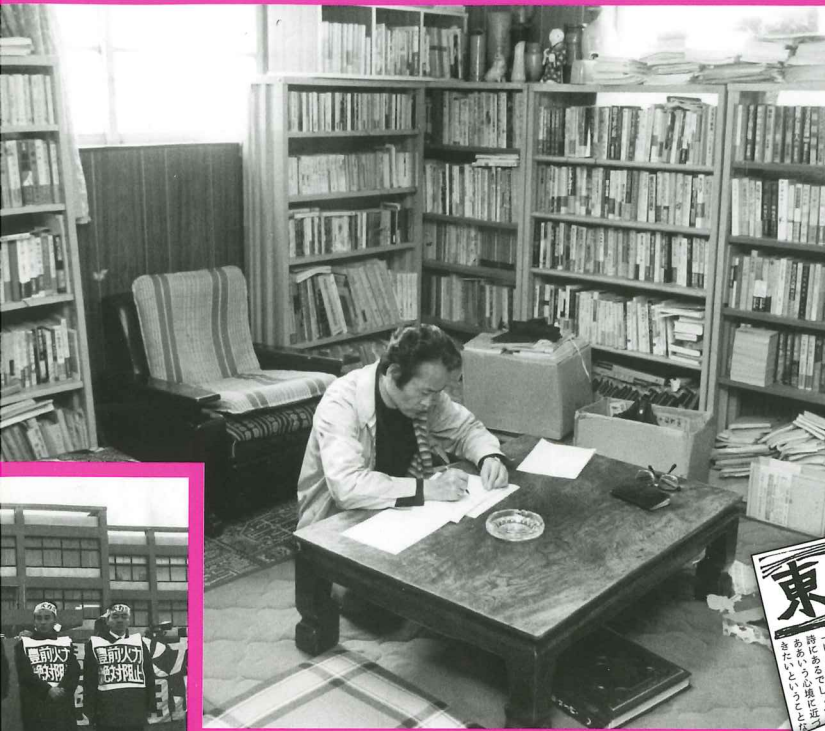
すいれん舎

## 復刻『草の根通信』

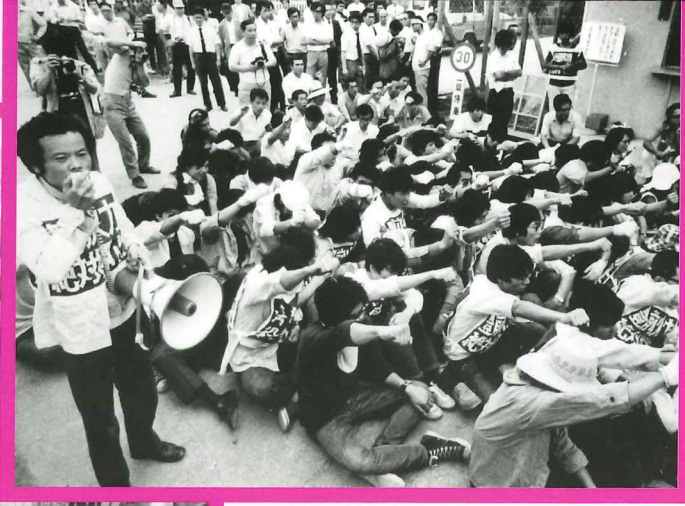
監修 埼玉大学共生社会研究センター  
 編集委員 新木安利 (草の根の会)  
 梶原得三郎 (草の根の会代表)  
 仲井 富

中村紀一 (筑波大学名誉教授)  
 羽田博昭 (横浜市史料室)  
 藤林 泰 (埼玉大学教授)  
 丸山 尚 (元住民図書館長)  
 安田常雄 (神奈川大学大学院特任教授)  
 新木安利





松下竜一氏の書斎。  
この小さな部屋が全国の公害反対運動のよりどころとなった。



七人の侍

**東ニ病氣ノドモアレバ** 松下竜一

私は今、本誌を購読して、環境権訴訟を闘っている。環境権訴訟とは、公害被害を受けた者が、行政機関に訴えて、損害賠償を請求するものである。これは、公害被害を受けた者が、行政機関に訴えて、損害賠償を請求するものである。これは、公害被害を受けた者が、行政機関に訴えて、損害賠償を請求するものである。

**法廷 第9回**  
多奈川火力の  
大阪府泉南郡山甲町  
生井正行氏  
民事事件(12月9日)

**環境権訴訟**

生井正行氏は、多奈川火力発電所の建設に反対し、環境権を侵害されたとして、損害賠償を請求している。この訴訟は、環境権を侵害された者が、行政機関に訴えて、損害賠償を請求するものである。

生井正行氏は、多奈川火力発電所の建設に反対し、環境権を侵害されたとして、損害賠償を請求している。この訴訟は、環境権を侵害された者が、行政機関に訴えて、損害賠償を請求するものである。

電力各社 設備利用率 (1974.10)

電力各社	設備利用率 (%)	電力 (億kWh)	設備利用率 (%)	電力 (億kWh)
関西電力	54.6	26,847	59.6	181.7
中部電力	28.252	49.8	181.7	8,446
北陸電力	44.4	203.7	9.703	54.4
東海電力	11.558	60.2	280.8	15,866
中国電力	3.141	67.9	307.7	17,100
四国電力	15.329	69.3	333.2	18,787
九州電力	17.342	77.7	375.0	20,237
東京電力	8.8	19,400	70.6	436.7
東北電力	53.7	21,507	517.2	26,485
北海道電力	424.0	25,760	69.0	568.0
福井電力	521.4	26,440	57.9	568.7
新潟電力	525.7	27,577	55.9	678.8
富山電力	614.9	30,126	55.9	31,573

**通信の根** 1973.12 No. 12

豊前火力絶対阻止

火電はアラブで動くのです。しかしアラブはアラブをくれません。だのに九電は豊前火力を運ぶのです。ワカカル君は、九電社員になれるのだ!

**草の根通信** 1974.10 No. 22

豊前火力絶対阻止

環境権訴訟をすすめる会 豊前火力絶対阻止委員会

豊前火力絶対阻止

環境権訴訟をすすめる会 豊前火力絶対阻止委員会



松下竜一氏執筆掲載号  
4~15、18~20、  
23~54、56~380

**執筆者・記事タイトル別収録号数(部)**

「下キエント海が殺される日」	19
「憲法9条を店頭に掲げた梶原鮮魚店」	127
「女たちの反原発」	178
松下竜一「豊前火力反対運動のなかの環境権」	4
「なぜくちやみ集会なのか」	6
「苦悩する稲重漁協の若者たち」	10
「環境権裁判が抱えている苦悩」	40
「かくも「ケ」にされて」	46
「住民運動の中の女性差別とは」	51
「裁判に触れる旅」(愛媛県沖浦海岸入浜権否定判決)	68
「佐賀関で起こったこと」	73
「たった10秒間の判決 逃げていった裁判官」	82
「ある開発の失敗」(酒田環境権訴訟)	118
前田俊彦「人民が権力者を裁く」	13
「わが里はなし」	133
和田卓「はばたけ開電いんでまえ」(多奈川訴訟原告松田官哉に聞いてほしい、この事態を!) (尾鷲三田火力前設反対)	22
後藤正治「泥水に追われるマニラの住民」	22
北山郁子「渾美火力の増設に反対する」	23
田尻宗昭「海殺しを告発する!」	30、31
「反公害の闘いは正念場に来ている」	108
星野芳郎「環境権裁判第八回公判 星野芳郎証言」	39
デビット・ロサリオ(グアム島)	
「日本の住民に訴える」	96
土本典昭「水俣を映画に撮り続けて」	103
日高六郎「反核の意味するもの」	119
高木三郎「脱フルトンラムへ! ハンスト宣言」	243
丸山尚「草の根通信のかげがえのなき」	257
松岡澄子「関金裁判の訴えているもの」	265
加藤泰久「青森県六ヶ所村から訴えます」	271
市民によるタヒチ取材調査団	
「概括報告 タヒチ・ポリネシアには被爆者がいる」	277
中倉健太郎「闇を飛ぶ「ふくろ」」(湯布院からの訴え)	286
衛藤洋次「米軍演習移転候補地・日出生台から訴えます」	293
木村京子「ストップ・ザ・フルサーマル・デー」	323
三浦翠「フナメリの声が聞こえる」	323

## 《本シリーズの刊行趣旨》

わが国の民衆運動は、戦後民主主義の中で成長し、60年代安保反対の国民運動でひとつの頂点を迎える。その後、全国各地の住民・市民運動、消費者運動へと広がりを見せ、70年代に入ると、これら生活者の運動は高度成長を進める権力に抵抗する中から、自らの新しい公共性を構築。あとに膨大な活動の記録を残している。

戦後住民運動資料集成は、彼らが発行したミニコミ類を忠実に復刻し、運動の現代的意味を考察すると共に、民衆の築きあげてきた野史の間隙を埋めようとするものである。

## 《復刻『草の根通信』の特徴》

### 1 豊前火力発電所反対運動・環境権訴訟の詳細な記録

全国に先駆けて公害予防闘争としての住民運動、環境権訴訟裁判闘争の詳細な記録。

### 2 全国の公害反対運動・住民運動ネットワークの結節点

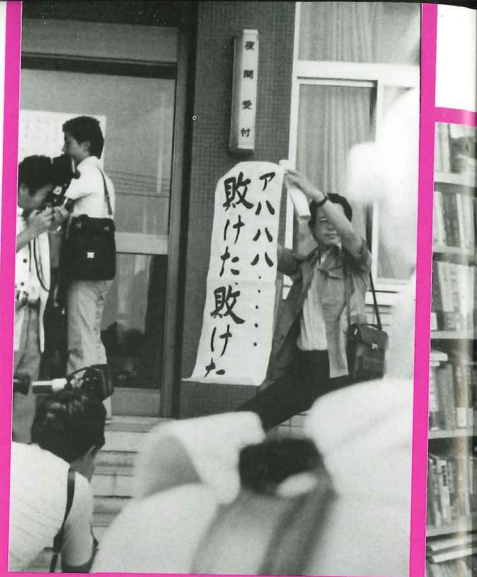
環境権裁判の先達伊達火力をはじめ水俣、四日市、沖縄など全国各地の公害反対運動・住民運動の当事者による事件現場、開発現場からのレポートや証言など70年・80年代当時の資料を多数収録。

### 3 作家松下竜一が半生をかけた珠玉のミニコミ誌

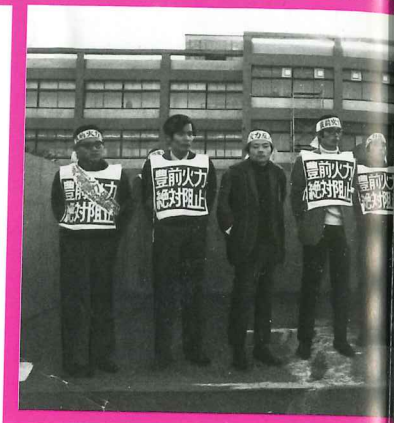
『豆腐屋の四季』や『暗闇の思想を』で有名な作家松下竜一が1972年から2004年まで半生を注いだ、5大傑作誌に数えられるミニコミ誌。1は1号から205号(1989年12月号)、2は206号から380号(2004年7月号)まで収録。

### 4 詳細な「総目次」と使いやすいテーマ別「目次」、著者索引を解題に付与

各号ごとの詳細な「総目次」と約800人の執筆者別索引を別冊解題に付与。また解題に全国の環境問題、反原発、反戦などのテーマ別記事索引「テーマごとの文献分類一覧」を収録し、研究者の利便をはかった。



福岡地方裁判所小倉支部審判決直後の垂れ幕メッセージ



豊前火力発電所差し止め請求事件原告団



中村隆市「テエルンブリ」原発事故から15年 現地からの報告  
大谷昭宏「子と私たち」に自由で平和な社会を

# 淡路剛久

(立教大学名誉教授)

## 個人の目と地域の目の確かさ

大転換期にある日本社会のこれからの考える上で、どのような情報がどのような形で社会に伝えられるべきかは、重要な課題である。テレビをはじめとする全国規模の大ジャーナリズムが、「劇場型」などと呼ばれる政治手法に利用され一挙に社会を動かしているように見える現状の中で、地域から、日本そして世界を見るならば、事態は大きく異なって見えるに違いない。

地域に根ざして展開された住民運動の歴史がこのことを示している。公害が噴出し始めた1960年代を経て1970年代、全国各地で環境権を旗印にした開発反対の住民運動が出現したが、作家故松下竜一氏を

じめとする少数の異議申立者によって展開された草の根の環境権運動と本人たちの訴訟、そしてそれらの情報を全国に発信した「草の根通信」は、個人の目と地域の目の確かさ、そして人間らしさを示してあまりある。グローバル化が進行しつつある状況の中で、対抗するものとしての個人や地域による情報の発信は、インターネットなど分権的手段の発展とあいまって、その価値と必要性をますます高めていくことであろう。

松下センセとその仲間たちが書きつづった「草の根通信」の中から、課題に対する重要なヒントが得られるのではないかと思う。

# 佐高信

## 松下竜一は高田渡である

「松下竜一は高田渡だった」と書くことかと思う人が多いかもしれない。しかし、「自衛隊へ入ろう」というシニカルなフォークソングをつくった高田は、実は井上陽水などポピュラーなシンガーに愛された。それだけの力をもっていたのであ

る。松下も同じように、プロの作家たちとその力を認められ、いまだにファンが絶えない。そんなことを気かけずに松下は書くべきものを飄々と書いた。そこもまた高田と似ている。高田と共に松下も、いや、松下と共に高田も永遠なれ！

推薦者

(五十音順)

飯田正剛 井上澄夫 川那部浩哉 木野茂 芝村篤樹 下嶋哲朗 菅井益郎 田中伸尚 辻子実 西尾漠 花崎皋平 原田正純 船橋晴俊 森まゆみ 安田常雄 安丸良夫 横田耕一

### 《販売対象》

環境関連学部学科/社会学部：環境社会学、社会運動、地域社会学  
経済学部：環境経済学、経済史、財政学  
法学部：不法行為、環境法、行政法、政治学、行政学、地方自治、公共政策/農学部/水産学部/工学部  
都道府県立図書館 市区立図書館

### 《戦後日本住民運動資料集成》

#### ●既刊

- 1 復刻『草の根通信』1 定価(240,000+税)2006年1月  
—環境権を求めて— 1号~205号(1989年12月号)
- 2 『巻原発反対運動・住民投票資料』 定価(240,000+税)2006年12月  
—地域を守る・住民投票—
- 3 『横浜新貨物線建設反対運動資料』 定価(240,000+税)2008年1月  
—地域を守る—
- 4 復刻『草の根通信』2 定価(240,000+税)2008年9月  
—環境権を求めて— 206号~380号(2004年7月号)
- 5 復刻『草の実』1 定価(240,000+税)2009年11月 1号~200号
- 6 復刻『草の実』2 定価(240,000+税)2010年8月 201号~475号
- 7 志賀原発反対運動・差止訴訟資料 定価(250,000+税)2012年2月
- 8 三島・沼津・清水町石油コンビナート建設反対運動資料 定価(250,000+税)2013年2月

#### ●刊行予定

- 9 奄美群島住民運動資料 定価(250,000+税)2014年1月

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-14-3-601  
TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070  
E-mail masato@suirensa.jp

取扱店